

NEWS RELEASE

No.12-7

2012年 8月 15日
(公財)損害保険事業総合研究所

8月25日発刊「損害保険研究」74巻2号のご案内

損保総研では、機関誌「損害保険研究」を5月, 8月, 11月および2月の年4回発行しており、今般8月25日に第74巻第2号を発行いたします。

本誌は学者と実務家による損害保険ならびにその関連分野に関する研究・調査発表を通じ、研究者・実務家双方にとって有益かつタイムリーな情報を提供することにより、損害保険に係わる学術振興ならびに損害保険事業の発展に寄与することを目指しております。

*第74巻第2号の主な掲載内容

最初に<研究論文>として、大倉真人長崎大学准教授による「保険ショップの経済分析」、中出 哲早稲田大学准教授による「損害保険における付帯サービスの位置づけ」ならびに横田尚昌東北学院大学准教授による「事故が偶然であるということの事実上の推定について」の3本を掲載いたしました。

続いて、連載中の<大震災・原発事故シリーズ>では、佐藤大介大分大学教授による研究ノート「原子力損害賠償制度に対する原子力損害賠償支援機構の影響—原子力事業者共済の可能性—」を掲載いたしました。

また、<研究ノート>として稲葉浩幸近畿大学教授・浦上拓也近畿大学准教授の共著による「保険業における定量分析の近年の動向」と呂 慧芬醒吾科技大学財務金融系副教授による「台湾における保険会社の破綻処理制度について」の2本を掲載いたしました。

このほか、当研究所が主催している「損害保険判例研究会」の報告2本に加え、<研究所事業紹介>として、「2011年度 下期調査・研究報告書」、「損保総研レポート第99号」、「アンダーライティングテキストⅠ・Ⅱ」の発刊案内ならびに「損害保険研究費助成制度」の応募受付案内を掲載しております。

*次号の掲載内容について

第74巻第3号(2012年11月号)では、保険研究者および実務家による5本の論稿に加え、I A I S河合美宏事務局長による講演録「国際保険規制の最近の進展」とインターリスク総研からの寄稿「事業中断対策の今後」(大震災・原発事故シリーズ)の掲載を予定しております。

いずれも読者の皆様の関心が高い分野と思われるので、是非ご期待ください。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
編集室 佐藤 修三 TEL 03-3255-5513

ご掲載いただけます場合には、掲載日をお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。